

平成 27 年度 ふるさと館事業計画

1. ふるさと学習の推進

1) 学校教科にあわせた学習支援

学校の学習单元にあわせて館内の資料を使いながら、体験とともに学習を深められるメニューを用意する。

例：昔の暮らし体験（体験メニュー：石臼、洗濯板、唐箕、火起こし、勾玉作りなど）

- 市内・市外 小・中・高校による見学・体験の受け入れ、総合学習など学習、研究の支援
- 民宿等セカンドスクールによる見学・体験の受け入れ
- 出張講座 市内小学校クラブ活動へのお出張、関連授業へのお出張講座（糸車、考古関係など）

2) 伝統文化の保存・活用

○地域の年間行事、歴史など伝統文化を学ぶための体験教室・講座

- 6 月「笹もち作り」 8 月「せせらぎ生物観察会」 12 月「しめ縄作り」
- 1 月「まゆ玉作り」 2 月「やしょうま作り」 3 月「春休み体験教室」

2. 情報発信

1) 企画展

①企画展「小菅の里と小菅山」(4/21～7/20)

小菅地域が国の重要文化的景観に選定されたことを記念し、多くの方に小菅の魅力を伝えることを目的とし開催する。

- ・ 現地学習 「小菅の里を歩こう」6/13

②企画展「考古関係の企画展」(9月～11月)

文化財保護強調月間にあわせ、飯山の古代を振り返る。

- ・ 秋まつり（フェスティバル）での縄文体験

③企画展「シリーズいいやま風土記」(12月～1月)

市内 10 地区を順次紹介。候補地区、柳原。石造文化財、お祭りの紹介など。

④企画展「城下町ひな街道 ひな人形展」(2/6～3/21)

商店街と連携し、城下町飯山のひな人形展の開催

2) ホームページ・広報誌の活用

企画展や行事の情報掲載・事業実施報告を随時ホームページや市報などに掲載
報道機関を活用し、常に話題を発信する

3) ふるさと館まつりの開催

地域学習の拠点であるふるさと館の資料や友の会・市民学芸員などの特技を活用し、テーマを設けた企画で多くの来館者に知ってもらう機会とする。

3. ふるさと館友の会関係

- ・友の会先進地視察（年2回）
- ・会誌「奥信濃文化」の発刊（年2回）
- ・友の会各部会による学習会
- ・友の会総会
- ・友の会だよりの発行
- ・寺めぐり案内講師派遣
- ・ふるさと館まつりへの協力
- ・体験教室への協力

4、その他

- 1) 中学校・高校・教職員研修等の職場体験実習の受け入れ
- 2) 館内常設展の小規模展示替え
- 3) 収集資料の整理
- 4) 市民学芸員による講座講師